

**製品名: AIM2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06704**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	39kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AIM2
別名	AIM2; Interferon-inducible protein AIM2; Absent in melanoma 2
遺伝子 ID	9447.0
SwissProt ID	O14862
免疫原	抗血清はヒト AIM2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

**背景**

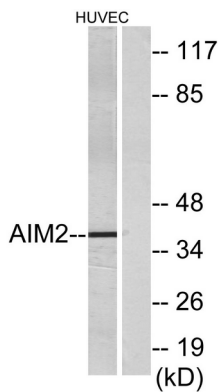
AIM2 は IFI20X/IFI16 ファミリーのメンバーです。腫瘍形成の反転において推定上の役割を果たし、細胞増殖を制御する可能性があります。インターフェロン  $\gamma$  は AIM2 の発現を誘導します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]。疾患: AIM2 の欠陥は、マイクロサテライト不

安定性大腸癌の原因となる可能性があります。機能: NF- $\kappa$ B の転写活性を抑制することで作用する可能性のある腫瘍抑制因子です。誘導: インターフェロン  $\gamma$  による。類似性: HIN-200 ファミリーに属します。類似性: DAPIN ドメインを 1 つ含みます。類似性: HIN-200 ドメインを 1 つ含みます。サブユニット: ホモ二量体。組織特異性: 脾臓、小腸、末梢白血球、精巣で発現します。

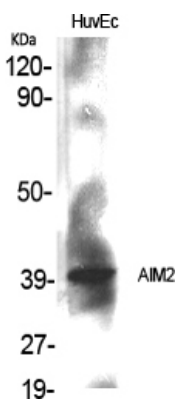
## 研究分野

細胞質 DNA 感知経路;

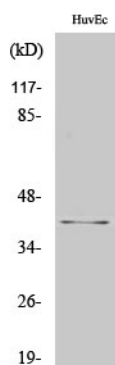
## 画像データ



AIM2 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AIM2 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



AIM2 ポリクローナル抗体を使用した HuvEc 細胞のウェスタンブロット分析。